



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月15日

上場会社名 ディーブイェックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3079 URL <https://www.dvx.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 宮本 聡 (TEL) 03-5985-6832
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月7日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	47,483	4.4	1,340	7.1	1,352	7.5	936	8.5
2022年3月期	45,496	10.9	1,252	47.8	1,258	48.0	863	50.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	90.21	90.04	10.5	5.9	2.8
2022年3月期	83.56	83.33	10.5	5.9	2.8

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 -百万円 2022年3月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	23,589	9,311	39.4	894.19
2022年3月期	22,210	8,587	38.6	828.27

(参考) 自己資本 2023年3月期 9,301百万円 2022年3月期 8,575百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,484	△477	△244	8,614
2022年3月期	1,687	△97	△235	7,846

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	258	29.9	3.1
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	312	33.3	3.5
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		59.3	

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,980	△2.7	244	△59.2	244	△60.3	163	△60.7	15.71
通期	48,004	1.1	792	△40.9	792	△41.4	527	△43.6	50.63

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料11ページ「3. 財務諸表及び主な注記(5)財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	10,780,000株	2022年3月期	10,780,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	377,844株	2022年3月期	426,244株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	10,377,722株	2022年3月期	10,328,422株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が残るものの、各種行動制限の緩和に伴い、社会経済活動の正常化が進んだことから緩やかな回復基調が見られました。しかしウクライナ情勢の長期化や資源価格の高騰、世界的な金融引き締めによる円安の進行や物価の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医療機器業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に減少し症例数が回復しつつあるものの、医療機関においては物価高騰による運営コストの急騰を価格転嫁できないことから、経営改善に努める医療機関等取引先からの販売価格引き下げ要求は依然として高く、医療機器業界を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような情勢のもと、当社では、社員の感染リスクを軽減するためのあらゆる対策を講じ、医療の安全、安心のために安定して商品を提供し続けることを使命とし企業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は47,483,757千円(前期比4.4%増)、営業利益1,340,547千円(同7.1%増)、経常利益1,352,942千円(同7.5%増)、当期純利益936,184千円(同8.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

セグメントの名称	前事業年度 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日		当事業年度 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
不整脈事業	39,374,717	86.5	40,858,153	86.0	1,483,435	3.8
虚血事業	3,185,952	7.0	3,059,612	6.4	△126,340	△4.0
その他	2,935,604	6.5	3,565,991	7.5	630,387	21.5
合計	45,496,274	100.0	47,483,757	100.0	1,987,482	4.4

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、症例数の一時的な減少傾向は依然として残っているものの、医療機関における医療提供体制の拡充に伴い前事業年度からは大きく回復し、当事業年度の売上高は40,858,153千円(前期比3.8%増)、セグメント利益は4,633,179千円(同5.8%増)となりました。

② 虚血事業

Spectranetics社製品の国内独占販売期間が終了したことから、当事業年度の売上高は3,059,612千円(前期比4.0%減)、セグメント利益は385,570千円(同35.7%減)となりました。

③ その他

外科、脳外科関連商品等が好調に推移したことから、当事業年度の売上高は3,565,991千円(前期比21.5%増)、セグメント利益は437,313千円(同23.1%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 流動資産

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末と比較して1,138,084千円増加し、21,965,511千円となりました。その主な要因は、電子記録債権が207,378千円減少しましたが、現金及び預金が767,843千円、商品が472,599千円増加したこと等によるものです。

(ロ) 固定資産

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末と比較して241,155千円増加し、1,624,470千円となりました。その主な要因は、土地が55,000千円減少しましたが、投資有価証券が300,000千円増加したこと等によるものです。

(ハ) 流動負債

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末と比較して630,364千円増加し、13,770,586千円となりました。その主な要因は、未払金が32,495千円、未払法人税等が71,000千円減少しましたが、買掛金が842,699千円増加したこと等によるものです。

(ニ) 固定負債

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末と比較して24,667千円増加し、507,469千円となりました。その主な要因は、退職給付引当金が31,057千円増加したこと等によるものです。

(ホ) 純資産

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して724,208千円増加し、9,311,926千円となりました。その主な要因は、剰余金の配当により258,843千円減少する一方、当期純利益により936,184千円、自己株式の処分により50,965千円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の獲得1,484,945千円、投資活動による資金の支出477,057千円、財務活動による資金の支出244,917千円等により、前事業年度末と比較して767,843千円増加し、8,614,223千円(前期比9.8%増)となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

棚卸資産の増加618,220千円、法人税等の支払額512,075千円等の支出要因があった一方、税引前当期純利益1,350,571千円に加え、減価償却費391,272千円、仕入債務の増加842,699千円等の収入要因により、1,484,945千円の資金の獲得(前期は1,687,188千円の資金の獲得)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の売却による収入65,244千円等の収入要因があった一方、有形固定資産の取得による支出230,140千円、投資有価証券の取得による支出300,000千円等の支出要因により、477,057千円の資金の支出(前期は97,487千円の資金の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の処分による収入14,346千円の収入要因があった一方、配当金の支払額258,478千円等の支出要因により、244,917千円の資金の支出(前期は235,334千円の資金の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	40.0	37.1	38.5	38.6	39.4
時価ベースの自己資本比率(%)	55.5	45.9	53.3	48.3	44.3
債務償還年数(年)	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	790.2	5,373.7	46,207.1	6,721,868.3	11,814.4

(注) 1 各指標は以下の計算式により算出しております。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象にしております。

(4) 今後の見通し

2024年3月期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げにより、社会経済活動の正常化がより一層進み、総じて症例数の回復が期待される一方で、虚血事業におけるエキシマレーザとIABPの総販売元としての取り扱いが終了したこと、一部の主要な取引先施設の減少が見込まれること、物価の上昇などによる運営コストの増加が見込まれることなどから、売上高はわずかに増収、営業利益以下の各段階利益は減益となる見込みであります。

このような環境の下、当社といたしましては、医療の安全、安心のために安定して商品を提供し続けることを使命とし、医療現場での課題解決に資する高度な専門性を活かした提案型営業による既存顧客の深耕と新規顧客の獲得を行うとともに、メーカーとの関係強化を通じて、仕入コストの低減にも取り組んでまいります。

以上の状況を踏まえ、2024年3月期の業績予想は以下のとおりであります。

	2023年3月期実績 (百万円)	2024年3月期計画 (百万円)	増減額 (百万円)	前期比(%)
売上高	47,483	48,004	520	101.1
不整脈事業	40,858	41,538	680	101.7
虚血事業	3,059	2,698	△360	88.2
その他	3,565	3,766	200	105.6
営業利益	1,340	792	△547	59.1
経常利益	1,352	792	△560	58.6
当期純利益	936	527	△408	56.4

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、今後の事業展開のために必要な内部留保資金を確保しつつ、株主に対して継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを基本方針としております。

上記の基本方針のもと、2023年3月期の配当金につきましては、1株当たり30円(配当性向33.3%)の普通配当を実施することといたしました。

なお、次期(2024年3月期)の配当については、1株当たり30円(配当性向59.3%)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,846,380	8,614,223
受取手形	31,067	28,816
電子記録債権	1,501,414	1,294,036
売掛金	10,021,357	10,080,539
商品	1,030,039	1,502,639
前払費用	123,775	139,903
その他	273,992	305,952
貸倒引当金	△600	△600
流動資産合計	20,827,427	21,965,511
固定資産		
有形固定資産		
建物	125,973	85,053
減価償却累計額	△91,893	△64,175
建物(純額)	34,080	20,878
車両運搬具	112,811	177,169
減価償却累計額	△89,168	△131,683
車両運搬具(純額)	23,643	45,485
工具、器具及び備品	2,050,422	2,216,094
減価償却累計額	△1,402,309	△1,632,843
工具、器具及び備品(純額)	648,112	583,251
土地	55,000	-
リース資産	-	10,000
減価償却累計額	-	△595
リース資産(純額)	-	9,404
その他	589	8,237
有形固定資産合計	761,425	667,257
無形固定資産		
ソフトウェア	4,354	23,636
その他	20,680	715
無形固定資産合計	25,034	24,351
投資その他の資産		
投資有価証券	30,000	330,000
出資金	135	135
長期前払費用	14,312	21,002
差入保証金	199,408	200,724
繰延税金資産	353,000	381,000
投資その他の資産合計	596,855	932,861
固定資産合計	1,383,315	1,624,470
資産合計	22,210,742	23,589,982

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,104,793	12,947,492
未払金	186,056	153,560
未払費用	71,412	72,118
未払法人税等	325,000	254,000
未払消費税等	107,337	-
契約負債	35,094	35,707
前受金	3,759	-
リース債務	-	1,440
預り金	8,013	8,118
賞与引当金	298,754	298,012
その他	-	135
流動負債合計	13,140,222	13,770,586
固定負債		
退職給付引当金	425,774	456,831
リース債務	-	8,773
資産除去債務	1,797	1,833
その他	55,230	40,030
固定負債合計	482,801	507,469
負債合計	13,623,024	14,278,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金		
資本準備金	314,730	314,730
資本剰余金合計	314,730	314,730
利益剰余金		
利益準備金	4,710	4,710
その他利益剰余金		
別途積立金	250,000	250,000
繰越利益剰余金	8,110,716	8,785,583
利益剰余金合計	8,365,426	9,040,293
自己株式	△448,931	△397,966
株主資本合計	8,575,682	9,301,514
新株予約権	12,036	10,412
純資産合計	8,587,718	9,311,926
負債純資産合計	22,210,742	23,589,982

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	45,496,274	47,483,757
売上原価		
商品期首棚卸高	1,363,086	1,030,039
当期商品仕入高	39,835,371	42,407,716
合計	41,198,457	43,437,755
他勘定振替高	7,894	△92,577
商品期末棚卸高	1,030,039	1,502,639
商品売上原価	40,160,523	42,027,693
売上総利益	5,335,750	5,456,063
販売費及び一般管理費	4,083,576	4,115,516
営業利益	1,252,174	1,340,547
営業外収益		
受取利息	80	1,246
受取配当金	3	3
為替差益	5,442	4,839
その他	2,269	6,431
営業外収益合計	7,796	12,520
営業外費用		
支払利息	0	125
その他	1,190	-
営業外費用合計	1,190	125
経常利益	1,258,780	1,352,942
特別利益		
固定資産売却益	99	809
特別利益合計	99	809
特別損失		
固定資産除却損	57	3,181
特別損失合計	57	3,181
税引前当期純利益	1,258,822	1,350,571
法人税、住民税及び事業税	435,906	442,386
法人税等調整額	△40,100	△28,000
法人税等合計	395,806	414,386
当期純利益	863,016	936,184

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	繰越利益剰余金	
				別途積立金			
当期首残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	7,499,166	7,753,876
会計方針の変更による累積的影響額						-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	7,499,166	7,753,876
当期変動額							
剰余金の配当						△247,263	△247,263
当期純利益						863,016	863,016
自己株式の処分						△4,202	△4,202
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	611,550	611,550
当期末残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	8,110,716	8,365,426

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△503,056	7,910,007	12,046	7,922,053
会計方針の変更による累積的影響額		-		-
会計方針の変更を反映した当期首残高	△503,056	7,910,007	12,046	7,922,053
当期変動額				
剰余金の配当		△247,263		△247,263
当期純利益		863,016		863,016
自己株式の処分	54,124	49,921	△1,852	48,069
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			1,843	1,843
当期変動額合計	54,124	665,674	△9	665,664
当期末残高	△448,931	8,575,682	12,036	8,587,718

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	繰越利益剰余金	
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	8,110,716	8,365,426
当期変動額							
剰余金の配当						△258,843	△258,843
当期純利益						936,184	936,184
自己株式の処分						△2,473	△2,473
株主資本以外の項目 の 当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	674,867	674,867
当期末残高	344,457	314,730	314,730	4,710	250,000	8,785,583	9,040,293

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△448,931	8,575,682	12,036	8,587,718
当期変動額				
剰余金の配当		△258,843		△258,843
当期純利益		936,184		936,184
自己株式の処分	50,965	48,492		48,492
株主資本以外の項目 の 当期変動額 (純額)			△1,624	△1,624
当期変動額合計	50,965	725,832	△1,624	724,208
当期末残高	△397,966	9,301,514	10,412	9,311,926

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,258,822	1,350,571
減価償却費	366,037	391,272
株式報酬費用	31,004	32,317
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33,804	31,057
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,301	△742
受取利息及び受取配当金	△84	△1,250
支払利息	0	125
為替差損益 (△は益)	△6,013	△4,871
有形固定資産売却損益 (△は益)	△99	△809
有形固定資産除却損	57	3,181
売上債権の増減額 (△は増加)	△566,970	150,446
棚卸資産の増減額 (△は増加)	140,713	△618,220
仕入債務の増減額 (△は減少)	804,594	842,699
その他	△111,771	△178,669
小計	1,973,396	1,997,106
利息及び配当金の受取額	255	40
利息の支払額	△0	△125
法人税等の支払額	△286,462	△512,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,687,188	1,484,945
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,344	△230,140
有形固定資産の売却による収入	100	65,244
無形固定資産の取得による支出	△3,960	△21,055
投資有価証券の取得による支出	-	△300,000
差入保証金の差入による支出	△2,875	△1,205
差入保証金の回収による収入	7,591	1,099
貸付金の回収による収入	12,000	9,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,487	△477,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,678	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	△785
自己株式の処分による収入	16,360	14,346
配当金の支払額	△250,017	△258,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,334	△244,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,013	4,871
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,360,380	767,843
現金及び現金同等物の期首残高	6,486,000	7,846,380
現金及び現金同等物の期末残高	7,846,380	8,614,223

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる財務諸表への影響はありません。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業は、商品分類に応じて「不整脈事業」、「虚血事業」、「その他」に区分されますが、主力事業である「不整脈事業」は販売代理店業を、「虚血事業」は国内総代理店業及び販売代理店業を営んでおり、事業毎に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

そのような状況から、当社は「不整脈事業」及び「虚血事業」の2つを報告セグメントとしております。

「不整脈事業」は、心臓ペースメーカ、ICD(植込み型除細動器)、電極カテーテル、アブレーション(心筋焼灼術)カテーテル等を販売しております。「虚血事業」は、エキシマレーザ血管形成システム、冠動脈ステント等を販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計 (注) 2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
ペースメーカー	3,913,516	—	3,913,516	—	3,913,516
植込型除細動器	2,117,217	—	2,117,217	—	2,117,217
両心室ペーシング機能付き 植込型除細動器	1,922,953	—	1,922,953	—	1,922,953
電気生理検査用カテーテル	11,077,261	—	11,077,261	—	11,077,261
心腔内超音波プローブ	3,879,222	—	3,879,222	—	3,879,222
熱アブレーション用 カテーテル(機能付き)	6,209,372	—	6,209,372	—	6,209,372
熱アブレーション用 カテーテル	451,264	—	451,264	—	451,264
冷凍アブレーション用 カテーテル	2,331,170	—	2,331,170	—	2,331,170
エキシマレーザー	—	1,106,650	1,106,650	—	1,106,650
その他	7,033,106	1,967,078	9,000,184	2,935,604	11,935,789
顧客との契約から生じる 収益	38,935,085	3,073,729	42,008,814	2,935,604	44,944,418
その他の収益	439,632	112,223	551,856	—	551,856
外部顧客への売上高	39,374,717	3,185,952	42,560,670	2,935,604	45,496,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	39,374,717	3,185,952	42,560,670	2,935,604	45,496,274
セグメント利益	4,380,929	599,626	4,980,555	355,195	5,335,750

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科、一般外科、消化器等の商品を販売しております。
- 2 セグメント利益の合計額は、損益計算書の売上総利益と一致しております。
- 3 セグメント資産、負債その他の項目の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計 (注) 2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
ペースメーカー	3,844,462	—	3,844,462	—	3,844,462
植込型除細動器	2,434,094	—	2,434,094	—	2,434,094
両心室ペーシング機能付き 植込型除細動器	1,965,952	—	1,965,952	—	1,965,952
電気生理検査用カテーテル	11,713,426	—	11,713,426	—	11,713,426
心腔内超音波プローブ	4,167,505	—	4,167,505	—	4,167,505
熱アブレーション用 カテーテル(機能付き)	6,453,491	—	6,453,491	—	6,453,491
熱アブレーション用 カテーテル	380,467	—	380,467	—	380,467
冷凍アブレーション用 カテーテル	2,445,066	—	2,445,066	—	2,445,066
エキシマレーザー	—	920,072	920,072	—	920,072
その他	6,997,394	2,042,027	9,039,422	3,565,991	12,605,413
顧客との契約から生じる 収益	40,401,860	2,962,100	43,363,960	3,565,991	46,929,951
その他の収益	456,293	97,512	553,805	—	553,805
外部顧客への売上高	40,858,153	3,059,612	43,917,766	3,565,991	47,483,757
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	40,858,153	3,059,612	43,917,766	3,565,991	47,483,757
セグメント利益	4,633,179	385,570	5,018,750	437,313	5,456,063

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科、一般外科、消化器等の商品を販売しております。

2 セグメント利益の合計額は、損益計算書の売上総利益と一致しております。

3 セグメント資産、負債その他の項目の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

【関連情報】

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
エム・シー・ヘルスケア株式会社	5,835,825	不整脈事業

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
エム・シー・ヘルスケア株式会社	6,405,491	不整脈事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	828円27銭	1株当たり純資産額	894円19銭
1株当たり当期純利益	83円56銭	1株当たり当期純利益	90円21銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	83円33銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	90円04銭

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2022年3月31日)	当事業年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,587,718	9,311,926
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	12,036	10,412
(うち新株予約権(千円))	(12,036)	(10,412)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,575,682	9,301,514
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,353,756	10,402,156

2 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	863,016	936,184
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	863,016	936,184
期中平均株式数(株)	10,328,422	10,377,722
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	27,709	19,447
(うち新株予約権(株))	(27,709)	(19,447)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。